若者が誇りを持てる希望に満ちた明るい未来の建設産業をめざして！

日本建設職人社会振興連盟新聞

〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町15-18　TEL 03-3639-0650　FAX 03-3639-0640
www.kenshokusharen.jp　info@kenshokusharen.jp

Vol.15

2022年（令和4年）5月25日 水

職人の声を国政に届けます
現場で働く皆様の声を国政に届け
実効性ある施策を実現させます
若者が誇りを持てる希望に満ちた明るい未来のある産業を目指して
日本建設職人社会振興連盟
ご入会お待ちしております

建設職人基本法と職人社会の未来～実績と今後の展望～

三者鼎談―櫻田義孝衆院議員・ふじすえ健三参院議員・小野辰雄建職連盟理事長

特別企画
三者鼎談
建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議
幹事長・櫻田 義孝 衆院議員
幹事長代理・ふじすえ 健三 参院議員
日本建設職人社会振興連盟
理事長・小野 辰雄

懸案の基本法「入魂」に明光さす!!

第15回建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議を終えて

CCUS問題前進

通常国会開会中の5月11日、20人以上の衆・参の国会議員が集まり、15回目の建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議が開かれ、活発な議論が交わされました。幹事長の櫻田義孝衆院議員からの開催案内では、今回の会議は基本計画見直し期限を間近にした最後の機会として位置づけられました。構成メンバーの先生方は強い意識のもと意見の集約を図り、それが「まとめ」として結実しました（別稿）。ここではこの取りまとめに奔走された経緯と今後の展望など多岐にわたって談論風発鼎談が行われた模様をお伝えします。

小野　第15回の建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議開催にご尽力を賜り、私ども連盟も意見表明をさせていただく機会を得てありがとうございました。

本日はこの会議の意義やその他両先生のご活躍に率直にご懇談いただき、連盟会員の皆様にお伝えする趣旨で鼎談を企画しました。どうぞよろしくお願いいたします。

ふじすえ（藤末）　今回ですね、一番感じたのは、あの褒めるわけじゃないんですが、小野理事長の執念がすごいと思いましたね。当日に6団体（注）からの圧力がかかったような動きが出ました。また、国土交通省から前日の深夜に修正文書が来たのにも関わらず、それをきちんと整理することできたのは小野理事長の思いの深さだと思います。それがあってこそ、CCUS問題の議論や6団体の意見については、きちんと収めて、前向きな議論ができたというのが非常に大きかったと思います。つまり、**建設職人さん総意の願いが山を動かした。**それは小野理事長の決意が大きかったと。

櫻田　しかしながら私の右腕としてその意志をフォローしていただいたふじすえ先生の調整力も大きかったと思います。

藤末　それはもう、私はフォローアップ会議当日の午前中にも国交省担当審議官と議論し、また官僚としての大先輩に当たる先生とも直談判して、ここでまとまらなければまとまらないというギリギリの調整でした。まとめるために力を貸してくださいと話をさせていただいて、皆様も分かったとおっしゃってくださったのが大きかったです。

フォローアップ会議の総括とCCUS問題の今後の展望

櫻田　私が開催案内で示しましたこの会議で2つの大きな問題、すなわち**墜落・転落災害対策に関する官民格差の解消に道筋をつける**とともに、もう一つの**建設キャリアアップシステム（CCUS）の進め方についてのコンセンサス、つまり国会のコントロール下におくべき**という**合意**が得られたことが大収穫と言えるのではないでしょうか。

藤末　建設職人基本法制定に向けて、当時、超党派の国会議員を渡り歩いて説得したことは今でも鮮明に覚えています。その頃は、まだ1日に亡くなる方が本当に2人ぐらいと言われていたから、墜落・転落災害による死者が500人を超えていたんですよね。

小野　確かに現在は一人親方等を含めると死者は350人程度となっていますが、依然として官民格差が解消されていません。手すり先行足場など安全対策をしっかりと講じている公共工事においてはここ15年間は死者が出ておりませんが、民間工事では依然減っておりません。

藤末　結局死んでもいいという考え方はおかしいのです。本当は**全ての災害についてゼロを目指す、ゼロにしなければいけない。**「やむを得ない」や「屋根からの方が多いんだから足場はいい」などそういう問題ではないと思います。

小野　その意味から「より安全な措置」等として言われてきた**手すり先行足場と組立時などの足場の安全点検についてより明確かつ強力な措置が講じられることが決まった。**先生方のお力と感謝します。

櫻田　私は常日頃から6団体をはじめとする皆様に手すり先行足場を付けられるところは付けるべきと主張してきました。今後は労働基準監督署のご指導もさらに強化していただき、**真に実効性のある手すり先行足場の促進、その効果のフォロー**に努めていただきたいものですね。

小野　ところでもう一つの焦点であるCCUS問題ですが、私も当日意見表明したように、**国が関与して建設職人に格付けをすることは許されない。格付けをされる身になってもらいたい。**建設職人だけが国から格付けされる今の制度は建設職人の声を汲み上げたものでもないし、他の職業との間で法の下の平等や基本的人権に触れる重大な問題と思います。その点はいかがでしょうか。

藤末　**CCUSについて**、議員の中からも与野党問わずに国会議員にきちんと説明できていない。国会を抜いて、ある意味で政府レベルの決定で予算をつけてやっている形になってるんで、**国会のコントロールが必要**だろうという意見は正しいと思います。ですからフォローアップ会議でプロジェクトチーム（PT）を作り、ウォッチしていこうと提案が出ましたし、その中でふじすえがPTの事務局長を務めろという指示がありましたので、それを受けて活動していきたいと思います。

櫻田　私は国会議員として唯一の建設職人出身ですが、技能や経験には自分が自信を持っており、いちいち国から格付けをいただかなくてもいいのではと感じます。**建設職人の手取りは雇用者と職人との間で市場原理の中で決められるもの**であり、国が格付けに基づいて一律に決定することのないように留意していただきたいですね。

藤末　会議では一部の議員から**法令に基づかずにCCUSを運用していることは法治主義の原則からいかがなものか**という指摘もありました。これらも含め、様々な点からCCUSを洗い直してみようと思います。

足場産業の皆様へ

櫻田　今回の会議では、これまでの国土交通省、厚生労働省中心の議論に加え、経済産業省が足場産業の行く末の面から参加しているのは心強いですね。

藤末　**最近の足場産業の発展には目を見張るものがあります。**経済産業省の関係者にあるシステム足場を見せたのですが、軽くて、面積を取らないので、建設コストの削減に繋がり、また軽くて組立が早いから工期削減に繋がる。データを見せたらこれは「すごいですね」って言ってました。このような新しい足場を全国にスピード感を持って普及させれば労災事故も減るのではないでしょうか。

小野　そのためにはどのような手段があるのでしょうか。会議では補助金の検討も「まとめ」の中に入りましたが？

藤末　私は経産省に勤めていた時代の経験から、今後の補正予算や来年度の当初予算において、**生産性と安全性の向上に役立つ足場の開発・製造・購入に対する補助金制度が可能ではないか**と思います。連盟のみなさまにも知恵を絞ってもらいたいと思います。補正予算は規模にもよりますが、中小企業向けでも一兆円の額を確保できる場合があります。災害防止という緊急性の高さからみてもタイミングがあれば上手く獲得できるかもしれません。頑張ってみたいと思います。

これは今後の夢ですが、**日本の優秀な技術を結集して古いタイプの足場を使っている東南アジアなど諸外国に対して日本の新型足場を売り込む**ということをJETRO（日本貿易振興機構）などと組んでやっていく手もあるのではないでしょうか。素人考えですが、ドイツやデンマークのような寒い場所で培った足場技術よりモンスーン地帯のアジアの方が日本の足場は向いているのではないかという構想も持っているんですよ。

櫻田　なかなか夢のある構想だね。会議でもそういうテーマを取り上げると面白いな。

参議院選挙に向けて

小野　私たち連盟は来るべき参議院選挙にむけてフォローアップ会議の先生方全員の再選を目指して頑張りたいと思います。とりわけふじすえ先生には今後もご活躍いただきたく大いにご支援申し上げたいと思います。抱負をお聞かせください。

藤末　私は次の参議院選挙で改選となります。まだ選挙期間中ではないため詳細は差し控えますが、前回の選挙では民進党から立候補しました。しかし、今回は自民党から公認内定を頂いております。与党に移ってからもう3年近くになりますが、野党時代とは比べものにならないぐらい政策面で活躍できています。今後も皆様にとって頼りになるふじすえでありつづけられるよう連盟の皆様のご支援、ご声援をお願いいたします。

（注）日本建設業連合会（日建連）・全国建設業協会（全建）・全国中小建設業協会（全中建）・建設産業専門団体連合会（建専連）・住宅生産団体連合会（住団連）・全国建設労働組合総連合（全建総連）の6団体

速報

超党派国会議員団の意志集約される

第15回フォローアップ推進会議における「まとめ」議決

建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議の第15回会合は議長の二階俊博衆院議員＝写真＝出席のもと5月11日東京・衆議院第一議員会館で開かれ、議論の末「まとめ」が上程され、全員一致で議決されました。この「まとめ」は建設職人基本法制定以来5年を経過した現在でも墜落・転落災害が一向に減少しない中、現行基本法制の改正及びその解釈について指針となる重要な内容が盛り込まれました。以下「まとめ」全文を掲載します。

なお、会議の議事録全文など詳細については次号以降に続報します。

第15回フォローアップ推進会議における「まとめ」

建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議（以下「本会議」という。）は、これまで検討してきたことを踏まえ、「決議事項」については以下のとおり取りまとめた。

建設職人基本法第８条の規定に則り、基本法第１条にある**「公共工事のみならず全ての建設工事について建設工事従事者の安全及び健康の確保を図ることが等しく重要である」**との目的を遂行するため、政府関係省庁におかれては、今回の決定に盛り込まれた事項を含め基本計画の見直し作業に着手し、成案を得たうえで閣議決定されたい。

具体的には、

１．建設業の労働災害のうち墜落・転落災害防止対策については、官工事と民間工事との間において安全対策上の差異、いわゆる**「官民格差」**を解消するため、**「より安全な措置」**等として、

① 墜落・転落災害防止対策を強化するため、**手すり先行工法に関するガイドラインについて、真に実効性のあるものにするための見地に立って内容を見直し充実する**とともに、その周知・指導と**フォローを推進する対策を講じ**ること。

② 足場の組立時等における安全点検を強化するため、**点検実施者は、十分な知識・経験のある者によるものとするよう所要の規則改正**を含めた対策を講じること。

２．上記１の「より安全な措置」等を始め建設工事従事者の安全及び健康の確保を図るため、元請業者と下請業者が建設工事の請負契約を締結する際、**足場及びその安全点検に関する経費（機材費、労務費、管理費など「以下同じ」）を含む安全衛生経費**について、

① **元請と下請の分担を示す確認表**を作成するとともに、

② 安全衛生経費の**内訳明示方式による標準見積書の普及、徹底**を図ること。

また、公共工事と同様、**民間工事においても**、安全衛生経費が適切かつ明確に積算がなされ、**下請負人にまで確実に支払われる**ようにすること。

なお、１及び２の二項目については、基本計画においてその要旨を盛り込んだ改正を行うとともに、中断している厚生労働省、国土交通省の**「実務者検討会」を速やかに再開**して、所要の結論を得ること。

その際、両省間で施策の整合性の確保を図り、１及び２が**一体化してセットで実施**できるようにすること。

３．経済産業省（技術革新等補助金の検討）

足場をはじめとする仮設機材について、**新たな技術開発と安全性の向上を図るため、事業者に対する助成措置**について経済産業省を中心に検討すること。

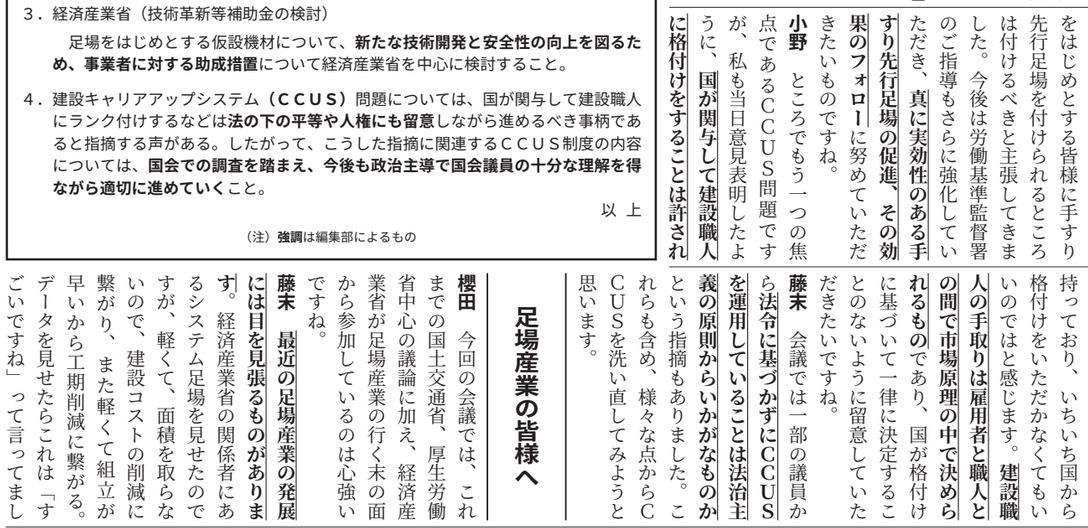
４．建設キャリアアップシステム（**CCUS**）問題については、国が関与して建設職人にランク付けするなどは**法の下の平等や人権にも留意**しながら進めるべき事柄であると指摘する声がある。したがって、こうした指摘に関連するＣＣＵＳ制度の内容については、**国会での調査を踏まえ、今後も政治主導で国会議員の十分な理解を得ながら適切に進めていく**こと。

以　上

（注）**強調**は編集部によるもの

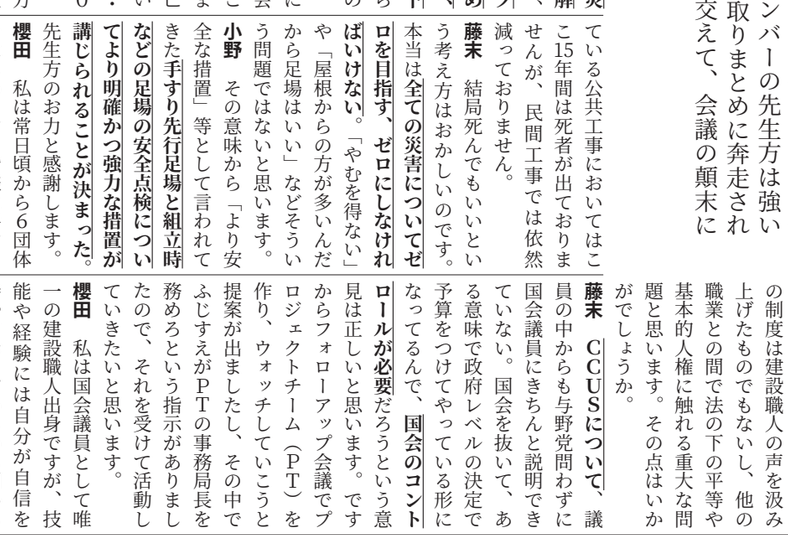
ふじすえ健三ものがたり

笑顔あふれる社会をつくります



足場の明日を守ります

ふじすえ健三参院議員



建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議の取り組む「基本計画の見直し方向」について、各会派28日に開かれた「参議院予算委員会」で、依然として減らないどころか増加傾向にある建設現場での死亡災害の現状をふまえ、建設現場で使う機材などをより安全で生産性が高いものにする必要性を訴えるとともに経済産業省のより一層の関与を提言されました。

また、ふじすえ議員は3月16日の「参議院財政金融委員会」でも厚生労働省に対し足場の安全確保と生産性向上に取り組むべく助成措置を創設する必要性を訴え、さらにインボイス制度などさまざまな補助や支援制度を中小企業や一人親方などに対し広く周知できるよう訴えました。

さらに、ふじすえ議員は会議員フォローアップ推進会議の会議でも活躍されているふじすえ健三参院議員は2月28日に開かれた「参議院予算委員会」で、依然として減らないどころか増加傾向にある建設現場での死亡災害の現状をふまえ、建設現場で使う機材などをより安全で生産性が高いものにする必要性を訴えるとともに経済産業省のより一層の関与を提言されました。

また、ふじすえ議員は3月16日の「参議院財政金融委員会」でも厚生労働省に対し足場の安全確保と生産性向上に取り組むべく助成措置を創設する必要性を訴えます。さらにインボイス制度などさまざまな補助や支援制度を中小企業や一人親方などに対し広く周知できるよう訴えました。

このように「足場の安全を守る」を合言葉にふじすえ議員の当連盟に対する力添えにはひとかたならぬものがあり、参議院通常選挙が7月に迫る中、建設職人の応援団長として今後も継続的な政治活動が強く期待されます。

藤末健三＝ふじすえけんぞう　1964年熊本市生まれ。熊本県立熊本高校卒業。東京工業大学卒業、86年通商産業省（現・経済産業省）入省。94年アメリカへ留学、マサチューセッツ工科大学・ハーバード大学両大学院で修士号取得。96年プロボクシングライセンス取得。00年東京大学助教授就任。04年参議院議員当選。10年参議院議員二期目当選。11年参議院総務委員長就任。12年総務副大臣・郵政担当副大臣就任。16年参議院議員三期目当選。17年建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議幹事長代理就任、民進党離党、参院会派「国民の声」設立・代表就任。18年統一会派「自由民主党・国民の声」結成。22年自民党入党（予定）。58歳

ご存知ですか？
参議院比例代表（全国区）の投票方法

1枚目
都道府県選挙区
候補者名を。
●それぞれの都道府県で

2枚目
参議院比例区は
政党名ではなく
○個人名
をお書きください
●全国で